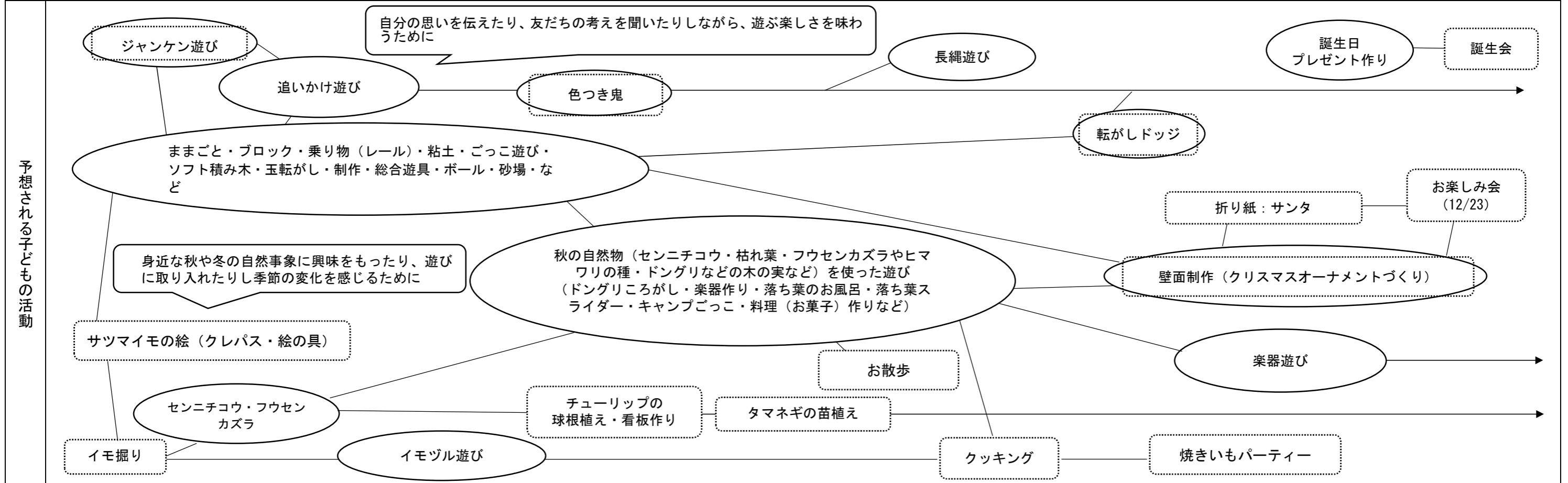


子どもの姿	<p>〈生活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登降園時や給食時などの身支度では自ら取り組もうとしたり、時計を見ながら時間内に終わらせようとする姿がある。一方で、周囲に気をとられてしまい、教師の声掛けや傍に寄り添っての援助がないと支度に気持ちが向かない子どももいる。</li> <li>○時計を見て片付けの時間になると、友だちに知らせたり、自分の使った物を積極的に片付けようとする姿がみられた。一方で、他の遊びに移行した際には、気持ちが次の遊びに向かってしまい、使った物がそのままになっていることがあった。</li> <li>○給食では、夏休みの間に家庭で箸の練習をした子どもが多く、補助箸を使う子どもが少なくなった。また、配膳の際に、自分で量を選ぶ方法に変えたことで、苦手な食材に挑戦する子どもが増えており、食事量も増え完食が増えていった。</li> </ul>	<p>〈遊びと人との関わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○かけっこやサーキット、リズム、パルーンなど、友だちと一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じていった。運動参観後には、年長児の綱引きやかけっこ・サーキットに参加したり、年少児とパルーンを楽しんだり、異年齢で遊ぶことも増えていった。</li> <li>○遊びの中で「こうしようよ」などと、少しずつ自分の思いを出して遊ぶ姿が見られるようになってきている。</li> <li>○バッタやトンボなど、季節ならではの生き物に関心を向け、友だちと捕まえようとする姿が見られた。また、捕まえた後も、図鑑などを見て名前を調べたり、飼育するために葉っぱを探す姿も見られた。</li> <li>○千日紅やフウセンカズラやあさがおの種などが収穫できることに気付き、友だちと集めることを楽しむ姿が見られた。また、集めた季節の草花やドングリを使って、友だちとやりとりをしながら料理作りを楽しむ姿も見られている。</li> </ul>
-------	--	---

ねらいと内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の中で必要なことが分かり、自ら進んで行おうとする。</li> <li>・遊びや生活の中で準備・片付け・衣服調節など進んでしようとする。</li> <li>○自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしながら、遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・教師や友だちと簡単なルールのある遊びを楽しむ。</li> <li>・色々な素材や材料、道具を使って遊びの場や物を作り、友だちと一緒に遊ぶ。</li> <li>○身近な秋や冬の自然事象に興味をもったり、遊びに取り入れれたりし季節の変化を感じる。</li> <li>・秋の自然物を取り入れて遊ぶ。</li> <li>・風の冷たさ、霜などに気付き、冬の訪れを感じる。</li> <li>・年末年始の行事や生活に関心を持つ。</li> </ul>	歌・リズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりころころ</li> <li>・きのこ</li> <li>・きんらきらぼん</li> <li>・公園に行きましょう</li> <li>・てをたたこ</li> <li>・うさぎのはらのクリスマス</li> </ul>	制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁面制作（サツマイモの絵）</li> <li>・チューリップの看板作り</li> <li>・クリスマスオーナメント作り</li> <li>・折り紙（サンタ）</li> </ul>	集団遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンケン列車</li> <li>・あの橋が落ちる前に</li> <li>・色つき鬼</li> <li>・転がしドッジ</li> </ul>
--------	---	-------	--	----	---	------	--



●環境構成と ○教師の援助	<p>＜生活の中で必要なことが分かり、自ら進んで行おうとするために＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもが自分で身支度や片付けができるように、物の場所を明確にしたり、分かりやすいように写真や絵で表示したりしておく。</li> <li>●ハンガー掛けやハンガーを用意し、自分で脱いだものを扱いやすいようにしたり、いつでも衣服の調整ができるようにしたりしておく。</li> <li>●自分たちで遊ぶ場を用意してすぐ遊び始められるように、遊びに必要な物を準備しておく。</li> <li>○遊びに必要な道具の準備や片付けを進んで行えるように、教師が見守りながら片付けをしているすがたを認め、最後まで片付けようとする意識がもてるようにしていく。</li> <li>○衣服の調節は子どもの様子を見守りながら、自分で気付いて行えるような言葉かけをする。</li> </ul>	<p>＜気の合う友だちに、自分の考えを言ったり、友だちの考えを聞いたりする心地よさを感じるために＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●イメージを広げながら遊びに必要な物を作ったり、作った物を使って遊んだりすることが楽しめるように材料を用意しておく。</li> <li>●それぞれの遊びの様子に合わせて、コーナーの場所を変えるなど環境を整えていく。</li> <li>○遊びの中で出た子どものアイデアを、全体でも出し合えるような時間を確保し、遊びが深まるようにしていく。</li> <li>○友だちとイメージを共有しにくい子どもには、教師が仲立ち、分かりやすい表現に変えたり、相手の気持ちを言葉にして伝えたりしながら、友だちと共に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていく。</li> <li>○友だちと一緒に遊ぶ楽しさやルールの大切さを感じられるよう、ルールのある集団遊びを取り入れながら教師も一緒に楽しんでいく。</li> <li>○遊び方やルールの理解の違いからいざこざが起こった時は、互いの気持ちを受けとめ、どうしたら遊びが楽しくなるか考えられるようにしていく。</li> </ul>	<p>＜身近な秋や冬の自然事象に興味をもったり、遊びに取り入れれたりし季節の変化を感じるために＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●園庭に咲いた花や種をとって遊べるようにカップやトレイなどを用意し、子どもの発見に共感し環境を整えておく。</li> <li>●秋の自然物を存分に使って制作を楽しめるよう、材料や素材を準備しておく。</li> <li>●色々な素材や道具を取りやすい場所に置いておき、使いやすく片付けられるよう工夫する。</li> <li>○収穫や採集の喜びに共感し、身近な自然を感じることができるよう絵本や図鑑などを置いておいたり、かかわったりする。</li> <li>○子どもが繰り返し試して遊ぶ姿を見守ったり、工夫する姿を認めたり、遊ぶ楽しさを共感したりしながら関わる。</li> <li>○風や水の冷たさを肌で感じたり、葉を落とした木々の存在に気付けるよう関わっていく。また、子どものつぶやきや感動を大切に受け止めていく。</li> </ul>
------------------	---	---	---

**期のねらい**

- 生活の中で必要なことが分かり、自ら進んで行おうとする。
- 自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしながら、遊ぶ楽しさを味わう。
- 身近な秋や冬の自然事象に興味をもったり、遊びに取り入れたりし季節の変化を感じる。

**内容**

- ・遊びや生活の中で準備・片付け・衣服調節など進んでしようとする。
- ・教師や友だちと簡単なルールのある遊びを楽しむ。
- ・色々な素材や材料、道具を使って遊びの場や物を作り、友だちと一緒に遊ぶ。
- ・秋の自然物を取り入れて遊ぶ。
- ・風の冷たさ、霜などに気付き、冬の訪れを感じる。
- ・年末年始の行事や生活に関心を持つ。

**子どもの姿と願い**

- ・室内で、楽器作りをしていた子どもたちが、廊下で曲に合わせて遊び始めたことで、キャンプごっこの場でも楽器を鳴らして遊ぶようになってきている。キャンプに家族で行った経験を再現し、レジャーシートを敷いたり、バーベキューをしたり、ハウスの中に落ち葉を敷き詰めその中で焼いた肉やサツマイモを食べたりし、キャンプごっこを楽しんでいる。集めた自然物をいろいろな場や遊びに使うことを思いつき、その遊びを友だちと話をしながら、作っていくことを楽しんでいる。教師もその楽しさに共感しながら、クラスの友だちに広がり、子どもたちの楽しい遊び場になるよう援助していきたい。
- ・先週から始まった色つき鬼では、始めは新しいルールに戸惑うようすも見られたが、やりたい子どもたちが集まり、教師も一緒に繰り返し遊ぶ中でだんだんとルールが分かり楽しみ始めている。周囲の色々な物に色が付いていることに気が付いて、遊具だけでなく「落ち葉が赤色だよ」「黄色い花にタッチしたよ」など、自然物の色にも関心を寄せる姿が見られている。やりたい思いはあるものの、ルールの理解が難しい子どももおり、教師も一緒に動いたり、言葉を添えたりしながら、友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しめるようにしていきたい。

**週のねらい**

- ①自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊ぶことを楽しむ。
- ②友だちと一緒に戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ③身近な秋の自然物に興味をもち、遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。

**内容**

- ①色々な素材を使って、遊びに必要な物を友だちと一緒に動かしたり、作ったり、試したりする。
- ①友だちとやりたいことを話しながら、遊び場を作ったり遊び方を考えたりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- ②戸外でのびのびと体を動かし、ルールある遊びを楽しむ。
- ③落ち葉や木の枝、ドングリなどの自然物を遊びの中に取り入れて遊ぶ楽しさを感じる。
- ③自分のイメージしたものを工夫しながら作ったり、遊びながら試したりしていく。

1日（月） 弁当日／絵本返却	2日（火）	3日（水）	4日（木） 国公幼研究大会	5日（金） 絵本貸出
-------------------	-------	-------	------------------	---------------

**○予想される子どもの活動\*ねらい**

- 登園
- 荷物整理
- 好きな遊びをする。  
（室内制作・ソフト積み木・木の実遊び（ドングリころがし）・楽器作り・リズム遊びなど  
室内砂場・ブランコ・総合遊具・落ち葉あそび・料理作り・キャンプ（BBQ）ごっこ・色つき鬼など）
- 10:30  
○片付け
- 10:30  
○片付け
- 10:30  
○片付け
- 9:55  
○片付け
- 10:30  
○片付け
- 朝の集まり  
（遊びの振り返り、歌（公園に行きましよう・てをたたこ）手遊び・リズム（ともだちいっぱい・やきいもグーチーパーなど）  
\*友だちに自分の楽しかったことや発見したことなど、知らせたいことを伝えようとする。  
\*教師や友だちと一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする楽しさを感じる。
- 11:00  
○木の枝飾り作り  
\*自分たちが拾ってきた木の枝を使って、思い思いに飾り付けをし、自分だけの木の枝飾りを作ることを楽しむ。
- 絵本返却

**振り返り**

- ・園のイチヨウの落ち葉をタライに入れて園庭において置くと、以前公園で拾ったイチヨウより大きいことを喜び、BBQに取り入れて遊ぶ姿が見られた。K児が「イチヨウをくるとしたらポテトになる」と言っていたら「ポテトになる」と言っていたら「ポテトになる」と言っていたら、G児も切り株の間に落ち葉を挟み「見て、ハンバーガー」と周囲の友だちに紹介した。それがきっかけとなり、友だちと一緒にハンバーガーセットを作ったり、やりとりをしながら食べる遊びが広がっている。
- ・Y児がイチヨウを見て「チョウに出来そう」と言ったことがきっかけとなり、園庭でマジックやテープを使って落ち葉で生き物を作ったり飾りを作ったりする遊びが始まった。園庭に制作用の机を用意していったことで、じっくり楽しむ姿が見られた。明日も引き続き楽しめるよう環境を用意していきたい。
- ・色つき鬼では、鬼がなかなか逃げない友だちを捕まえられなかったことから、何色にすればすぐに捕まえられるか「青は近くだからやめよう」「ピンクが遠いからいいかも」などと鬼同士で相談する姿が見られるようになった。
- ・昨日欠席した子どもたちが登園したことで、キャンプごっこの続きを楽しむ姿があった。振り返りではH児が家でキャンプに行ったときにテントがあったことを話したことがきっかけとなり、明日はみんなでテント作りをすることになった。テントがイメージできそうな材料を用意し、子どもたちのやりとりを見守りながら援助していきたい。
- ・登園した幼児から声をかけ合いすぐにテント作りが始まった。テープでレジャーシートを留めながら「ここでいいかな?」「テープちぎって」などと言いながら作る姿が見られた。風が強く、途中何度もテントやレジャーシートがはがれたが「修理手伝って」「ペットボトルに水を入れてきて」などと、協力しながら作ろうとする姿が見られた。振り返りで明日はテントの周りに壁やドアを作ることになった。引き続き、子どもたちが考えを伝え合うところを支え、一緒に楽しんでいきたい。
- ・Y児がクラスの活動で行った木の枝飾りをもっとしたいと言ったことがきっかけとなり、木の枝やマツボックリに様々な素材を使って飾り付けをする遊びが始まった。保育室に素材を用意し、楽しめる環境を作っていく。

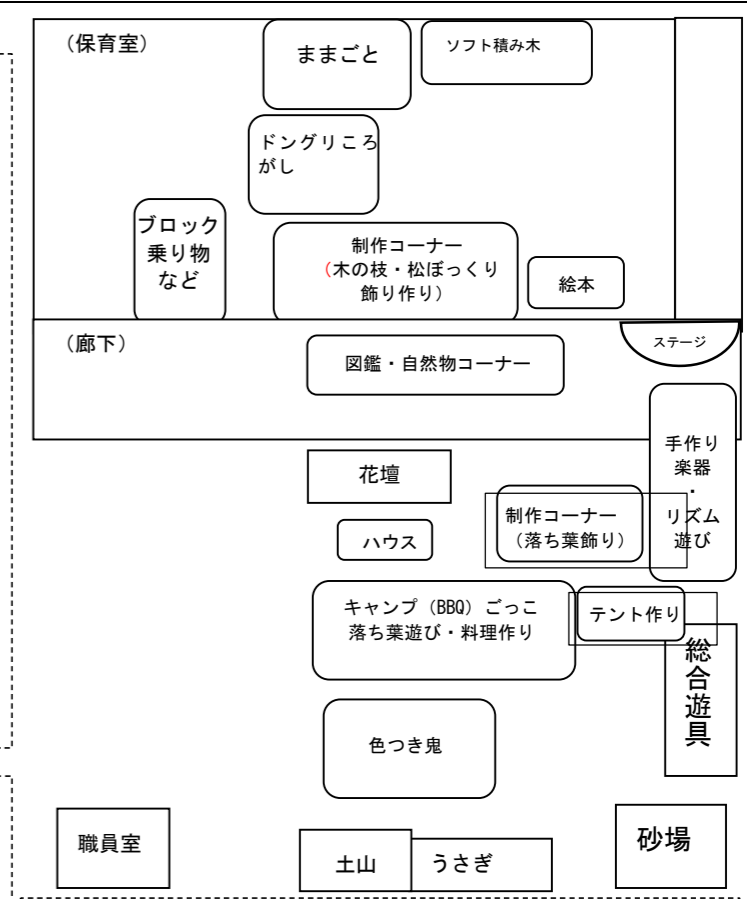
①自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶことを楽しむ。

- ☆色々な素材や廃材を使って自由に遊べるよう、扱いやすい場へ置いて用意しておく。
- ☆子どもが自分達で遊びを始められるよう、遊びの道具を取り出しやすいところへ置いておく。
- ☆子どもが遊びのイメージを広げやすいように、遊びの場を分けたり、表示したりする。
- 興味のあるあそびを楽しむ姿を見守ったり、教師もあそびに参加しながら楽しさを共感したりしながら、楽しい雰囲気づくりをしていく。
- 友だちの思いに気づけるように、友だちの気持ちに寄り添えるような声掛けをする。
- 友だちと遊ぶ中で思いがぶつかった時には、お互いの思いを出せるように仲立ちをして、相手の思いに気づけるようにしていく。
- 友だちと一緒に思いを出し合いながら遊んでいた場面や遊びに必要なものを作っていた場面を写真で撮り、振り返りの時間にクラス全体で共有できるようにしていく。

②友だちと一緒に戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。

- ☆いつでも色つき鬼が始められるように、色カードをカゴに入れて用意しておく。
- ☆捕まった子が入る白線を子どもたちが描けるように、ライン引きを用意しておく。
- 教師も色々な遊びに参加しながら、子ども達の興味関心へつなげられるようにする。
- 新しいルールが始まりそうな時には、思いを出し合う姿を認めながらどうしたら楽しく遊べるか一緒に考え、ルールを決めていけるよう関わっていく。
- ルールの理解が難しい子どもには、教師が仲立ちしながら、一緒に遊びを楽しめるようにしていく。

**評価**



③身近な秋の自然物に興味・関心をもち、遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。

- ☆秋の自然物を使って子どもが思い思いに遊びや制作ができるよう、必要な素材や道具を子どもの遊びのようすに合わせて用意しておく。
- ☆落ち葉を集めやすいよう、熊手を用意する。
- 子どもの驚きや気付きを見逃さずに受け止め、疑問に思ったことを考えたり調べたりできるように関わっていく。
- 秋の自然が出てくる絵本を取り入れ、秋の自然に興味をもてるようにする。
- 子どもの発見や気付きを、クラス全体の振り返りのなかで広げていくようにする。

## 4 歳児 保育指導案

- 1 日 時 2025（令和7）年12月4日（木） 9:00～10:30
- 2 対象児 4 歳児 うさぎ組 24人
- 3 場 所 うさぎ組保育室・園庭
- 4 子どもの姿と教師の願い

新入児6人、進級児18人のクラスである。進級入園当初から、自分の興味をもった遊びに進んで関わる姿があった。ダンゴムシやチョウの幼虫を捕まえて飼育をしたり、園庭の草花や金柑などの木の実を摘んで色水やジュース作りをしたりするなど、身近な自然物に関わりながら遊ぶ姿が見られた。また、思いきり体を動かして遊ぶことを好み、お面をつけて動物や虫になりきりながら追いかけたり、追いかけられたりすることを繰り返し楽しんでいった。友だちのしていることや、環境の変化に興味を示し、真似たり遊びに取り入れたりする一方で、興味が移りやすい傾向にあった。自分も同じようにやりたかったり、自分の遊びたいことへのこだわりが強かったりし、思いを主張したり、泣いてトラブルになったりすることもあった。言葉や育ちの個人差も大きく、教師が思いを聞いたり、個々の思いに寄り添ったりする支援が必要である。その都度、一人ひとりの思いを受け止め、思いを代弁したり、どうすれば一緒に楽しめるか、一緒に考えたりする仲立ちをしてきた。

2学期になり、むっくりくまさんやかけっこなど、歌や合図に合わせて走って遊ぶことを楽しむようになり、次第に簡単なルールを守りながら友だちや教師と一緒に遊ぶことを楽しむようになっていく。逃げるタイミングが分かる追いかけっこは、クラスのどの子も楽しめるのではないかと考え、色つき鬼を取り入れてみた。始めは、新しいルールに戸惑う様子もあったが、繰り返し遊ぶうちに友だちと色を見つけて遊ぶことを楽しむようになってきている。

園庭の、紅葉した落ち葉やどんぐりが落ちていることに気が付き、集めてお風呂に見立てたり、落ち葉のすべり台にしたりして遊ぶ姿が見られるようになった。もっと落ち葉が欲しいと、近くの公園に散歩に出かけ、木の枝や落ち葉など持ち帰ったことで、キャンプごっこが始まった。繰り返し遊ぶ中で、焼き芋や、バーベキューパーティーが始まったり、木の実や枝で作った楽器のステージが出来たりと、生活経験やこれまでの遊びから発想して遊びに取り入れながら、秋の自然物に親しみ遊ぶ楽しさを感じている。友だちと「今日はお家の中に落ち葉を敷こう」「これ手伝って」などと、会話をしながら遊ぶ姿が見られている。自分のやりたいことを話しながら、友だちと一緒に遊ぶ場を作ったり、遊び方を考えたりし、友だちと一緒に遊ぶことが存分に楽しめるように、子ども同士のやりとりを見守り、思いに共感したり一緒に楽しんだりしていきたい。

### 5 期のねらい

- 生活の中で必要なことが分かり、自ら進んで行おうとする。
- 自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしながら、遊ぶ楽しさを味わう。
- 身近な秋や冬の自然事象に興味をもったり、遊びに取り入れたりし季節の変化を感じる。

### 6 今週のねらい

- 自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 友だちと一緒に戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 身近な秋の自然物に興味をもち、遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。

### 7 評価の視点（○子ども ●教師）

- 自分の思いを友だちに伝えながら、一緒に遊ぶことを楽しんでいったか。
- 子ども同士の遊びを見守りながら、やりとりや思いに共感したり、遊びが楽しめたりする援助ができたか。